

## 故障かなと思ったら

まず次の点をもう一度お調べください。

1. 停電もしくは、ブレーカーが落ちていませんか？
2. タイマー電源プラグが、コンセントからはずれていませんか？
3. タイマーは、正しく設定されていますか？
  - 現在時刻を確認してください。
  - タイマー設定時刻を確認してください。
4. タイマー運転時間内ですか？
  - タイマー設定時刻を確認してください。
  - タイマー運転時間外であればタイマーのモードを「連続運転」にしてファン運転を確認してください。確認後再びモードを「タイマー」に切替えてください。
5. タイマーのモードが「停止」になっていませんか？

※詳細な設定方法はタイマー添付の取扱説明書をご参照ください。

## アフターサービス

### 補修用性能部品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6年です。

- この期間は経済産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

### 不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買いあげの販売店に、お問い合わせください。

### 修理を依頼されるときは

- 保証期間中の修理については、販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときは、品名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 一般家庭以外（例えば業務用など）に使われたときの故障は保証期間内でも原則として有料修理になります。

### 保証書について

- この製品には「保証書」がついています。
- 保証書はお買いあげの販売店でお渡ししますので、記入内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書にお買いあげ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効になりません。万が一、記入がない場合は、お早めにお買いあげの販売店にお申し出ください。
- 万が一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内はお買いあげの販売店が無料修理いたします。

### 愛情点検

### 長年ご使用の送風機の点検を



ご使用の際、このような症状はありませんか？

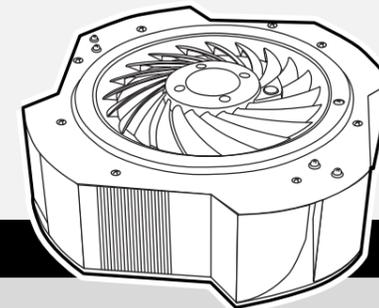
- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある
- 回転が遅い、または回転が不規則である
- 運転中に異常な音や振動がする
- 焦げくさい“におい”がする
- その他の異常がある

ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

## かくはん型送風機 306型

# 取扱説明書



## 安全上のご注意

### 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

**警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### 警告

■仕様変更・改造・分解は絶対にしない。  
火災・感電・けがの原因となります。

■製品を水や薬剤につけたりかけたりしない。  
ショート・感電の恐れがあります。  
破損・変形の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を超える  
使い方や、交流100V以外で使用しない。  
誤った配線工事は火災・感電の恐れがあります。

■取付工事および電気工事は  
「電気設備技術基準」「内線規程」  
に基づいて専門工事店が行なう。  
誤った配線工事は火災・感電の恐れがあります。

■決められた以外の場所では使用しない。  
(本製品は、一般住宅床下・天井裏専用です。)  
火災・感電・けがの原因となります。

■さだめられた施工以外で使用しない。  
火災・感電・けが及び故障の原因となります。

### 注意

■運転中は危険ですから本体内部に指や物を入れない。  
感電・火傷・けがの恐れがあります。

■本体取付のときは必ず手袋などを着用する。  
けがの恐れがあります。

■水につかるところに取付けない。  
ショート・感電の原因となります。

■製品の上に物を置かない。  
破損・変形の原因となります。

■固定足を持って運んだり動かしたりしない。  
破損・変形の原因となります。

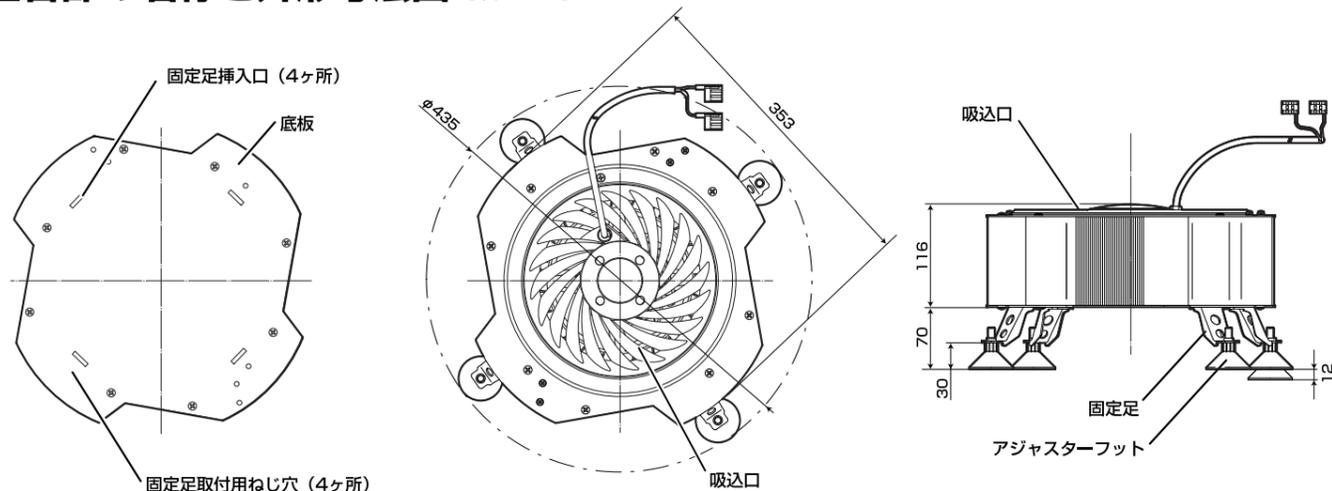
■落とさない。  
破損・変形の原因となります。

### お願い

■台風時など床下浸水が予想されるような場合は電源を切ってください。また、床下浸水などがあった場合は部品の交換が必要です。(お買いあげの販売店にご相談ください。)

# 施工方法（据置タイプ）

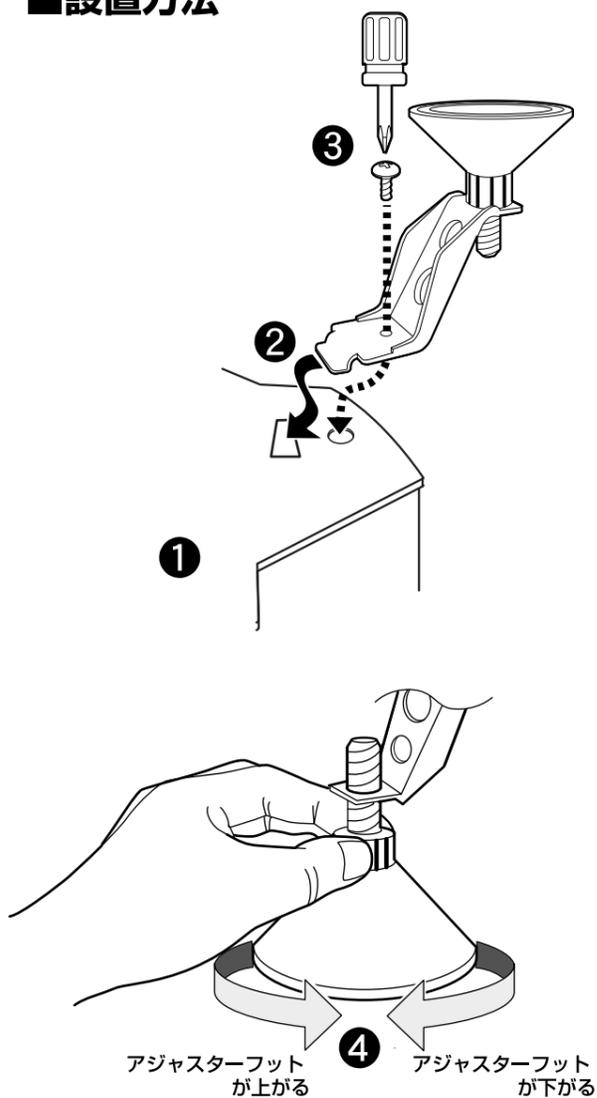
## ■各部の名称と外形寸法図 [単位：mm]



### ■梱包内容

本体×1台、取扱説明書×1冊、保証書×1冊、コネクタキャップ×2ヶ、タイマー（※梱包箱に記載）、横P付コード×1本（タイマー同梱時のみ）、固定足×4本、アジャスターフット×4本、トラス小ねじ（M5×8）×4本  
 注）仕様により梱包内容が異なる場合がございます。

## ■設置方法



**1** 本体を逆さまにし、底板面を上 にします。

### お願い

●本体を逆さまにする際に吸込口を地面にすりつけたり、たたきつけたりしないでください。破損・変形の原因になります。

**2** 固定足挿入口に合わせて固定足の先を差込みます。

**3** 底板の固定足取付用ねじ穴に固定足の穴を合わせ、添付されているトラス小ねじ（M5×8）で締付け、固定します。

※ **1**～**3**をくりかえして固定足を4ヶ所取付けます。

### お願い

●ねじの締過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

**4** 本体をもとにもどし、本体が水平になり、また、がたつきがないようにアジャスターフットの高さを調整します。

※時計方向にまわすとアジャスターフットが下がります。反時計方向にまわすとアジャスターフットが上がります。

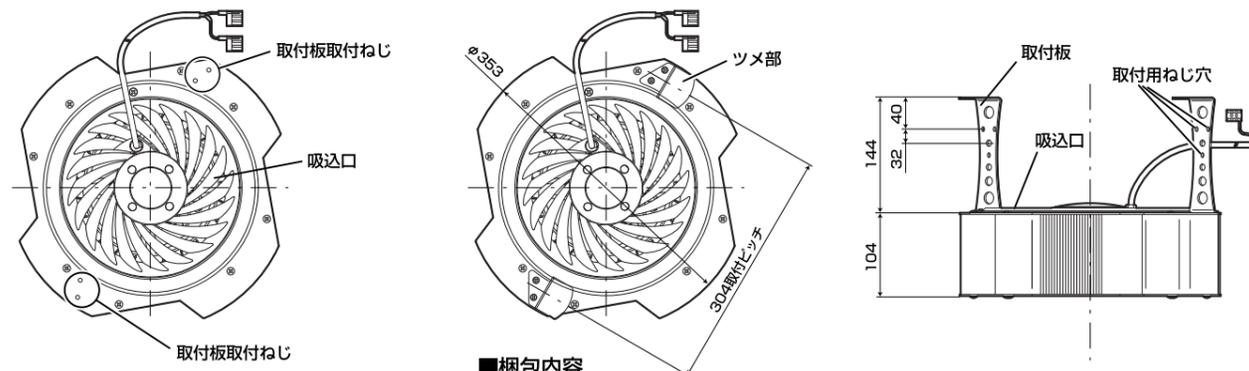
### 注意

- 据置面が水平であるか確認して据置きしてください。
- 据置く時はアジャスターフットの下に小石などがいないことをご確認ください。
- 固定足を持って運んだり、施工時に押したり引いたりしないでください。破損・変形の原因となります。

# 施工方法（取付タイプ1）

## 吸込口が上側の場合

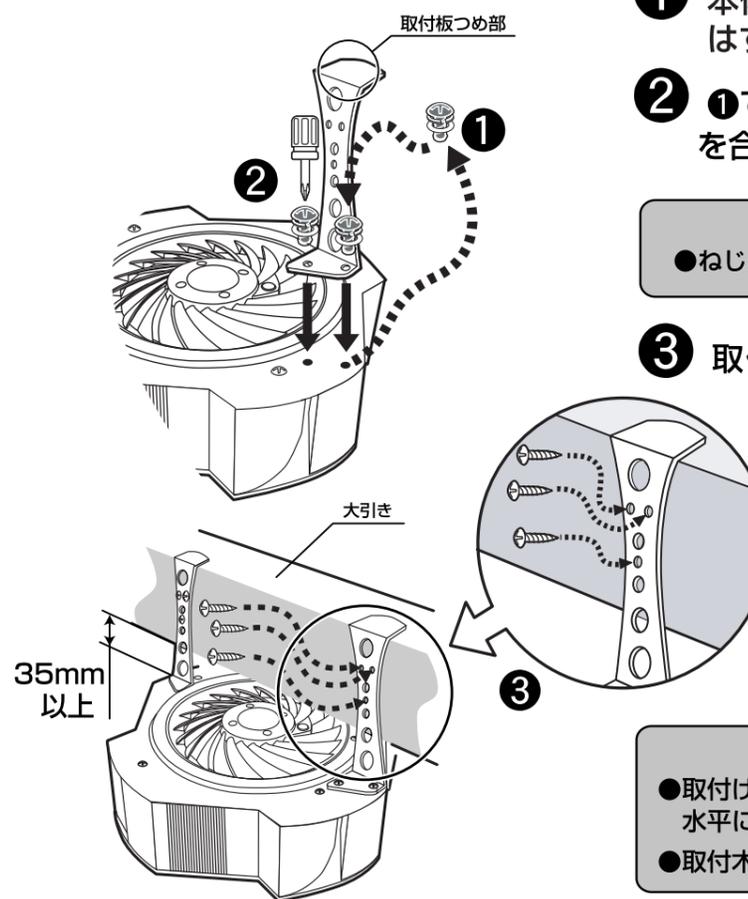
## ■各部の名称と外形寸法図 [単位：mm]



### ■梱包内容

本体×1台、取扱説明書×1冊、保証書×1冊、コネクタキャップ×2ヶ、タイマー（※梱包箱に記載）、横P付コード×1本（タイマー同梱時のみ）、取付板（2種類）、トラスタッピンねじ（φ4×25）×6本  
 注）仕様により梱包内容が異なる場合がございます。

## ■設置方法1（吸込口が上側の場合）



**1** 本体に取付けてある取付板用取付ねじを4本取りはずします。

**2** **1**で取りはずしたねじのねじ穴と取付板下部の穴を合わせ**1**ではずしたねじで締付け、固定します。

### お願い

●ねじの締過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

**3** 取付板のツメ部を大引きなどの木部に引掛け、取付用ねじ穴に付属のトラスタッピンねじ（φ4×25）で締付け、固定します。

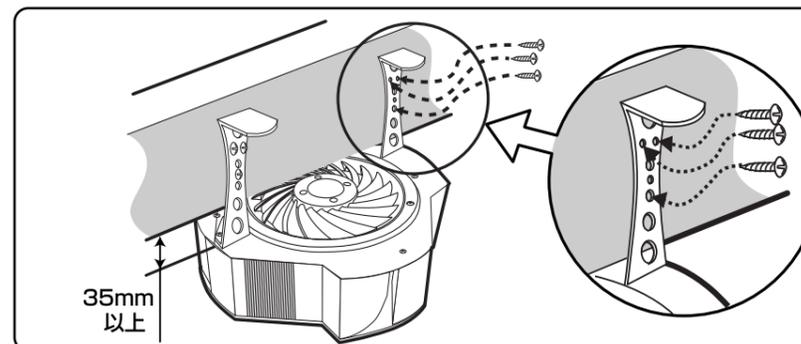
### 注意

※木部の大きさは、□105mmまで取付け可能です。それ以上大きな場合は「設置方法1-1」をご参照ください。

### お願い

- 取付けの際は木部が水平であることを確認のうえ、本体が水平になるように取付けてください。
- 取付木材から吸込口までは35mm以上はなしてください。

## ■設置方法1-1（取付木部が□105mm以上の場合）



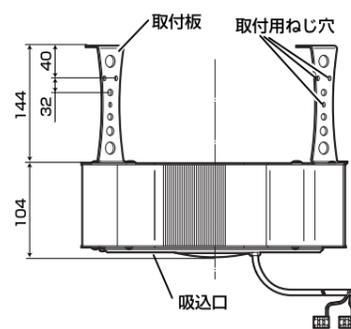
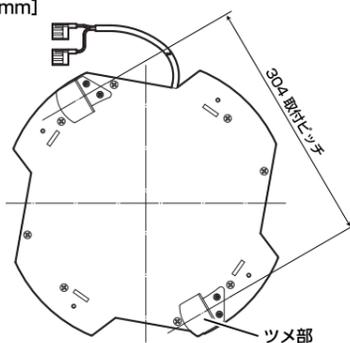
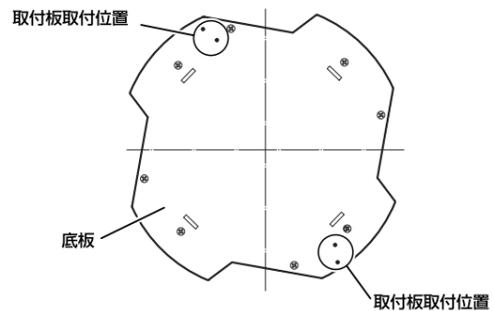
※取付板のツメ部を引掛け可能な木部の大きさは、□105mmまでです。それ以上大きな場合はツメ部を引掛けず、反対側より取付けてください。その際、取付木材から吸込口までは必ず35mm以上はなしてください。

# 施工方法 (取付タイプ2)

## 吸込口が下側の場合

### 各部の名称と外形寸法図

[単位: mm]



#### 梱包内容

本体×1台、取扱説明書×1冊、保証書×1冊、コネクタキャップ×2ヶ、  
タイマー (※梱包箱に記載)、横P付コード×1本 (タイマー同梱時のみ)、取付板 (2種類)、  
トラスタッピンねじ (φ4×25) ×6本  
注) 仕様により梱包内容が異なる場合がございます。

### 設置方法2 (吸込口が下側の場合)

**1** 本体の吸込口面に取付けてある取付板用取付ねじ (取付タイプ1の各部の名称と外形寸法図参照) を4本取りはずします。

**2** 本体を逆さまにし、底板面を上に戻します。

**3** 取付板取付位置と取付板下部の穴とを合わせ**1**でははずしたねじで締付け、固定します。

#### お願い

● 本体を逆さまにする際に吸込口を地面にすりつけたり、たたきつけたりしないでください。破損・変形の原因になります。

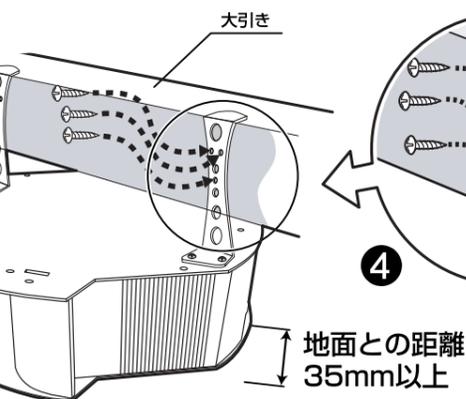
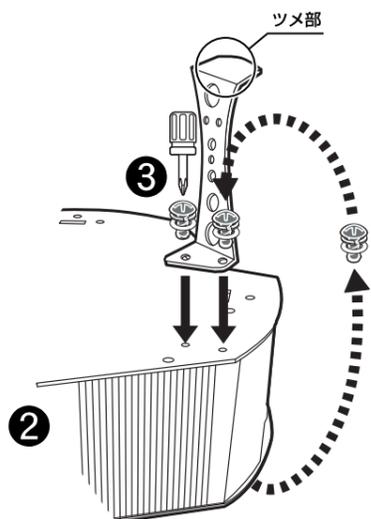
**4** 取付板のツメ部を大引きなどの木部に引掛け、取付用ねじ穴に付属のトラスタッピンねじ (φ4×25) で締付け、固定します。

#### 注意

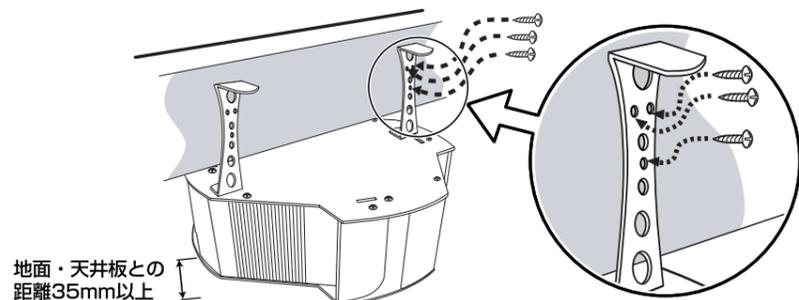
※ 吸込口から地面・天井板までは必ず35mm以上はなしてください。吸込口と地面・天井板の距離が35mm以上確保できない場合は、「設置方法2-1」をご参照ください。

#### お願い

● 取付けの際は木部が水平であることを確認のうえ、本体が水平になるように取付けてください。



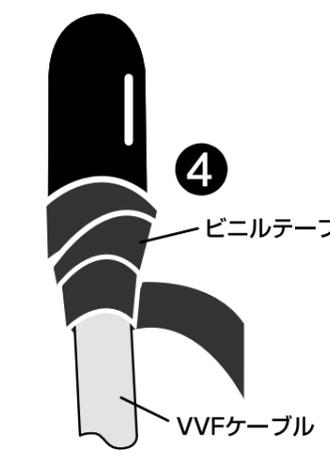
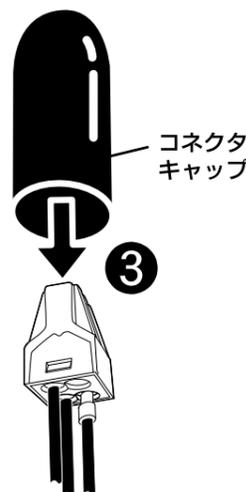
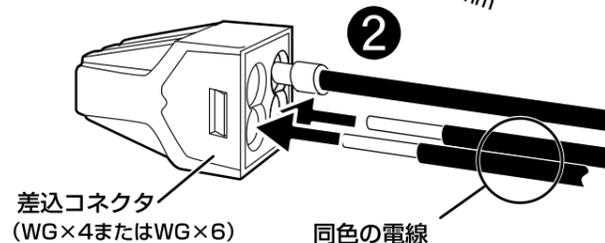
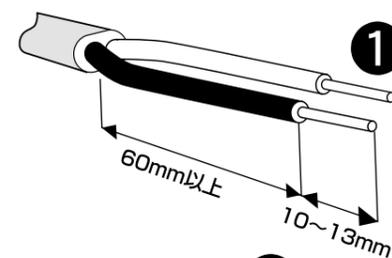
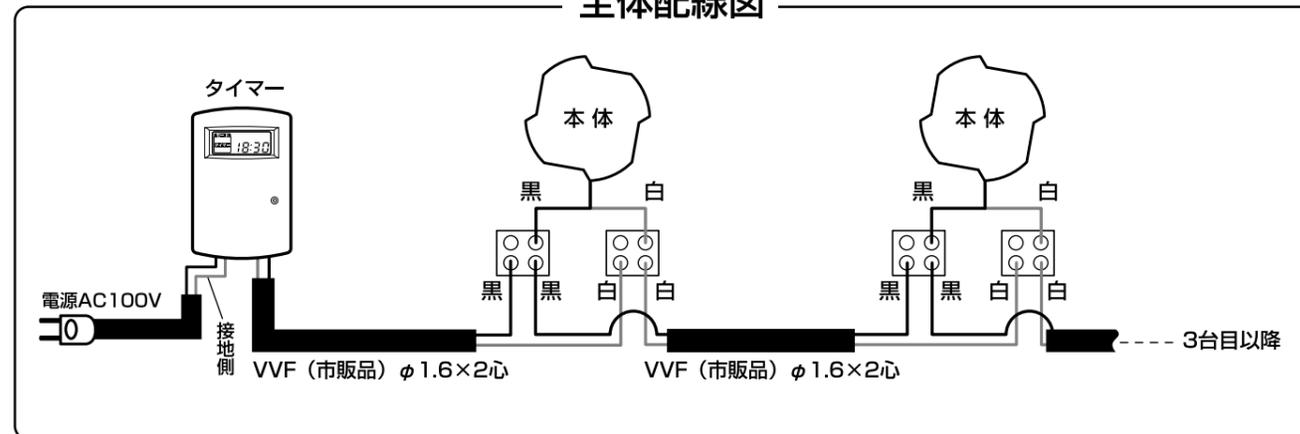
### 設置方法2-1 (取付木部が□140mm以上の場合)



※ 取付板のツメ部を引掛け可能な木部の大きさは、□140mmまでです。それ以上大きな場合はツメ部を引掛けず、反対側より取付けてください。その際、地面・天井板から吸込口までは必ず35mm以上はなしてください。

# 配線および結線方法

## 全体配線図



**1** VVFケーブル (市販品φ1.6×2心) を10~13mm段剥きし、曲がり等があれば直してください。

#### 注意

● 電線の段剥きの長さは必ずお守りください。

**2** 段剥きした電線を先端が突き当たるまで、差込コネクタに強く挿入してください。

※ 一本毎に引張り、抜けないことをご確認ください。

#### 注意

● 1つの差込コネクタには異なる色の電線を差込まないでください。  
● 曲がった電線は必ず真直ぐに直して差込んでください。  
※ 不適正な電線の使用は火災の原因となります。

**3** 付属のコネクタキャップを被せてください。

#### 注意

● コネクタキャップを被せた後は、必ず先端を上に向けてください。  
※ 下に向けてると水滴が溜まり、漏電・ショートの原因となります。

**4** ビニルテープを半幅以上重ねて3回以上巻いて固定してください。

## 仕様

定格電圧	AC100 [V]
定格周波数	50/60 [Hz]
定格消費電力	26/30 [W]
風量	575/529 [m <sup>3</sup> /h]
騒音	46/43 [dB]
質量	約 3.8 [kg] ※添付部品を除く。